

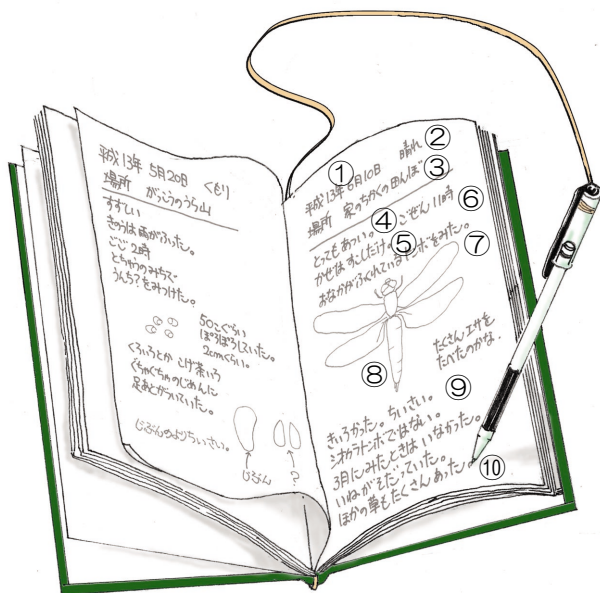
03 観察のガイド

ここまで、多くの生きものはそれぞれに必要な環境がある程度決まっています。その環境に深く結びついて生活をしていることをみてきました。それでは、実際に野山や川などに行って、環境と生きもの^{かか}の関わりを体験するためには、どのようなことを頭^{えが}に描いて観察すればよいのでしょうか。

ここでは、いくつかの例として、わかりやすい観察のポイントを紹介します。これをヒントにして、できるだけ自分で環境と生きもの^{かか}の関わりをさがしてみてください。きっと、たくさんの答えや疑問がうかんでくることでしょう。そうした気持ちで“観^みる”ことが大切です。

Check 1

メモのとりかたの例



- ① 月日
- ② 天気
- ③ 場所
- ④ 気温
- ⑤ 風の状態
- ⑥ 時間
- ⑦ みつけたもの
- ⑧ みつけたもののスケッチ
(色や大きさ)
- ⑨ 気づいたことや感想
- ⑩ まわりのようす

とにかくなんでも記録しよう
みたもの、聞いたもの、思ったことなど